

## 東海会及び事務局での取り組み状況

日時：2023年7月19日（水）9：30～11：00

場所：クロスコートタワー11階 東海会事務局

参加者：氏原総務部長、柘植副会長

インタビュー：広報委員会 委員 和田 康兵

報告者：広報委員会 委員 長尾 悠太

日本公認会計士協会では2021年にSDGs宣言を策定しました。同時にパンフレットを作成し公表しています。この中でSDGs宣言に至る経緯及びこの宣言を達成するために公認会計士が貢献できると考える分野を【経済】【社会】【人・環境】の3つの柱として整理し、協会が今後取り組むべき具体的なアクションプランを示しています。

昨年度からは協会本部に設置されているSDGs推進委員会と共に、各地域会からの委員によるSDGs連絡委員会という会も設置され、各地域会での活動を活性化していこうとしています。そこで、今後東海会でのSDGs活動についても定期的に皆様へお伝えするために東海会ニュースにて特集記事を掲載していくことにしました。

今回は第一弾として、本部のSDGs推進委員及び東海会でのSDGs担当である副会長の柘植さんと総務部長の氏原さんに広報委員会ニュース分科会リーダーの和田さんが東海会での取り組み状況についてインタビューをさせていただきました。



ニュース分科会リーダー 和田広報委員



柘植副会長

和田さん：協会本部では2021年にSDGs宣言を策定され、柘植さんはその策定を検討した特別委員会にも参加されていたということですが、この策定の背景などについて教えていただけますか？

柘植さん：企業の間でSDGsが重要視されるようになり、協会としても何らかの取り組みをすべきでは、ということになりました。加えて、SDGsは2030年を達成年限としています。同時に、公認会計士協会も2048年に100周年を迎えます。

そこで、SDGsにも絡め、「公認会計士協会が今後どのような姿になりたいか」を考えるため、当時の関根会長がリーダーとなり、公認会計士協会の役員で構成される6名のメンバーにて「持続可能な社会構築における協会の課題・取組検討委員会」が2018年に発足しました。

私を含め、メンバーも当時は、SDGsについての知識があまりなかったため、実際にすでに活動を実施していた経団連等を訪問するなどして勉強をしていき、まずはこのSDGs宣言を策定することとなりました。

2018年に委員会を発足し、3年ほどかけてSDGs宣言を策定したものの、新型コロナウイルス感染拡大により具体的なアクションプランは進んでいませんでした。

そのため、2022年に「SDGs推進委員会」を発足させ、各地域会から連絡委員を選定し、当委員会にて現在、各地域会でSDGsに対し、どんな活動をしていくかを話し合っているところです。



和田さん：SDGsはテレビやニュースなどでよく見るようになりましたが、フードロスや環境対策の話題が印象的であり、会計士の活動がどのようにSDGsに紐づくか、この宣言を見るまで想像もつきませんでした。

柘植さん：宣言策定のために話し合う中で、今の活動がそのままSDGsにつながっていることも見えてきました。例えば、ハロー！会計での基礎教育を通じた地域貢献や女性活躍促進など3本の柱に通ずるものがあります。

新たに他の活動を実施するというよりも、まずは今の足元の取り組みがSDGsに関連していることを明確化し、その上で、新たな活動ができないかを考えています。

また、宣言策定の中では、会計士協会としての直接的な取り組みと、個人で活動されている会計士の方への支援、このいずれの活動も実施するべきであるということが話し合われました。

和田さん：SDGs宣言の下、各地域会でもSDGsに関する取り組みを進めていくということですが、東海会での取り組みについて教えてください。

柘植さん：稲垣会長の方針により、各委員会における事業計画にSDGsに関する取り組みを一つは入れてもらうようにしています。もともと東海会として実施している事業には、SDGsに関連している活動もたくさんあるため、それを関連付けたくうえで、発信していくことも重要と考えています。また、各委員会に横串を刺して東海会でのSDGsの活動を推進していくように、私をSDGs担当副会長に任命していただきました。各委員会とも連携し、東海会全体でSDGsの活動を推進していきたいと思っています。

和田さん：今後、東海会として実施していきたいと思うSDGsの推進活動は何かありますか？

柘植さん：会員の中にはSDGsに関する取り組みを実施されている方が何名かいらっしゃるのですが、今後そのような方についてインタビューを実施し、東海会ニュースでお知らせすることを考えています。また、その方達による講演会などに

についても今後実施をしていきたいと考えています。

この他、学習指導要領が改訂され中学高校でも会計リテラシーを学ぶ機会が増えてきました。そのため従来の学生を対象とした活動のみならず、教える側である教員への支援も行っていきたいです。



氏原総務部長

和田さん：総務部長として、東海会事務局で実施されてきたSDGsに対する取り組みについて教えてください。

氏原さん：一番できることは紙改革だと思っています。そのため総務部長としてまず資料を印刷することを止めました。最初は皆、違和感を持ちますが、コスト削減にもなり、役員会や他の委員会でも広がっています。また、資料共有についてはBOXの利用を進めています。

若い層の方は社会貢献への意識が高く、取り組みをすることがモチベーションアップにつながると考えています。その一例として、事務局のメンバーがフードドライブ\*を企画し、実施しているという事例もあります。今後も開催予定ですので、是非ご参加下さい。

\*フードドライブ...家庭にある手つかず食品を持ち寄り、まとめてフードバンク活動団体や地域の福祉施設などに寄付する活動です。東海会では名古屋市が実施している事業に参加し、過去2回実施しています。

和田さん：事務局のリノベーションが行われましたが、その中でSDGsの考え方を取り入れたことなどはありますか？

氏原さん：SDGsで重要なのは、意識改革だと考えています。色々な方に会って話をし、また協会がどんな活動をしているか知ってもらうことが重要であり、事務局をそういった場所として使ってもらいたいと考えました。

リノベーションもその一環で、店づくりの本などを参考に電源の増設やモニターの設置、コピー機も過去は3台ありましたが、紙の削減の観点から減らす予定です。また、しっかりとゴミの分別を意識してもらうために、ゴミ箱も分かりやすく設置してもらいました。セキュリティ関係についても変革し、皆さんに気軽にきていただける場所となるようにしました。

和田さん：事務局のイメージとしては、近寄りやすいイメージ、あまり不用意に来てはいけない場所という認識がありましたが、「来てください」との発信は意外でした。

氏原さん：特に個人事業の方は、知り合いを増やしたいというニーズもあるため、そのような機会を提供できる場所として活用してもらってもいいですし、個人の仕事をさせていただいても大丈夫です。Wi-Fiも自由に使ってもらって大丈夫なので、ぜひ多くの皆さんに来ていただきたいと思っています。



日本公認会計士協会パンフレット  
「信頼を紡ぎ 未来を拓く」より引用



パンフレットはこちらから  
ご覧になれます



第二回 フードドライブの実施結果!!



左から、和田委員、氏原総部長、柘植副会長、長尾皆様、お待ちしております!